

産業建設委員会会議録

1 日 時 令和6年6月28日（金曜日）

開会 午前11時00分

閉会 午前11時17分

2 場 所 第1委員会室

3 出席又は欠席した委員の氏名

（出席） 委員長 三上 周 治

副委員長 小西 利 一

委員 太田 善 介

委員 荒木 将之介

委員 深見 昌 宏

委員 小川 進 一

委員 加藤 保 博

（欠席） なし

（その他出席者） 議長 村木 理 英

4 職務のため出席した議会事務局職員の職氏名

議会事務局長 西村 佳 子

同次長 宇野 裕

同庶務調査係主事 柴田 美緒子

5 説明のため出席した者の職氏名

なし

6 調査事項及び報告事項その結果

調査事項

（1）議会事務事業評価の実施について

7 議事経過の概要 別紙のとおり

8 その他必要な事項 別紙のとおり

開会 午前11時0分

○委員長（三上周治君） ただいまから産業建設委員会を開会いたします。

本日の出席は7名であります。

それでは、調査事項の（１）、議会事務事業評価の実施についての調査に入ります。

本日は、まず事務事業評価を行おうとする事業の選定を行いたいと考えております。なお、事業の選定は委員間の自由討議で行います。

本件について皆様の御意見はございませんか。

荒木委員。

○委員（荒木将之介君） 議会事務事業評価なんですが、赤米関連事業についてというふうに考えております。

赤米の関連事業で大きなものと言えば、新本小学校で子どもと一緒にやる田植ですとか赤米フェスタでありますとか、先日ありましたけども備中国分寺の前での赤米の田植ですね。こういったものだと思います。赤米が脈々と継承されてきているということは総社市の文化として非常に大切なんだと思うんですが、神事自体は、市が介入するまでもなくやっておりますので、新本のほうで。ということは、赤米自体は継承されていると。文化は常に継承されてきていると。

それに乗っかって何かやろうということでやっているんだと思うんですが、事業費を見ておいてもそれなりにかかっている。年によって多少波はあるんですけども、赤米の事業費自体が、観光費の持ち出しのうちの赤米の部分が、一千万円幾らでしたかある状況です。

赤米フェスタでは入場料という言い方はしないですけども、手ぬぐいですとかポストカードを販売ではないですが寄附をしていただいてお渡しして、それを入場チケットの代わりに使っているという状況で、総社市赤米ヒカリノミ基金のほうにその収益を積み立てているという状況です。積み立ててはいるんですけども、これは純粋に手ぬぐいの収益を積み立てているのか、市から出している予算のうちから幾らかでも積立てに回ってしまっているのかということも結構不透明なところが多いんです。透明性がないので、そこを明らかにしていく。予算も膨らんできているので、そこも少しチェックをしていったほうがいいんじゃないかなという思いもありまして、赤米関連事業全般を評価してみてもどうかというふうに考えております。

○委員長（三上周治君） この際、休憩いたします。

休憩 午前11時05分

再開 午前11時16分

○委員長（三上周治君） 休憩を閉じます。

小西副委員長。

○委員（小西利一君） 先ほど荒木委員からも発言がありましたけど、今回、赤米フェスタの予算とか会計の内容とか、イベントに対する取組姿勢とかというのも含めてこの委員会でも調査したほうがいいと思うので、私は賛成です。

以上です。

○委員長（三上周治君） 他に御意見ありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（三上周治君） それでは、これをもって自由討議を終結いたします。

本委員会での議会事務事業評価については、赤米フェスタについて実施することといたしたいと思いますが、これに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（三上周治君） 御異議なしと認めます。

よって、そのように決定いたしました。

次に、今後のスケジュールについてであります。

まず、本日選定した事業名について当局に通知いたします。その後、7月から9月中旬にかけて事業の所管事務調査を行い、事業に対する質疑を経た後、各委員で評価を行い、その後委員会としての評価を取りまとめたいと思います。委員各位におかれましても、あらかじめ過去の決算状況の確認や市民の意見の把握などに努めた上で、評価に臨んでいただきますようお願い申し上げます。

以上をもちまして、本日の調査事項は終了いたしました。

これをもって、本委員会を閉会いたします。

閉会 午前11時17分